

# 平成20年度人間総合科学研究科最先端医学研究セミナー

日時: 2008年7月10日(木) 17:00~

場所: 医学学群棟4階4A411

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社  
AS事業部 リサーチビジネス部 システム販売促進グループ  
小林 五月 先生

\* 本セミナーは最先端医学研究セミナーの単位に換算されます。

## 「リアルタイムPCRの基本、原理」

リアルタイムPCR法は、現在の分子生物学にはなくてはならない手法の一つになっています。しかし、例えば「リアルタイムPCR装置とは?」、「リアルタイムPCR定量とは?」と聞かれても即答しにくいかと思います。これは、今でもなおリアルタイムPCRの原理には直感的に捉えにくい部分があるからだと考えられます。本セッションでは初心に立ち戻ってリアルタイムPCRの原理についてご説明致します。

## 「リアルタイムPCRのプライマー・プローブデザインについて」

リアルタイムPCR定量実験を行う際に最も面倒なのは、実験系の構築、特にプライマー・プローブのデザインやサーマルサイクリングにおける温度条件の最適化であると考えられます。本セッションでは、現時点でのリアルタイムPCRの様々な問題点を解説し、これらの問題点を解決するにあたって非常に有効なツールであるユニバーサル プローブライブラリーについて解説いたします。

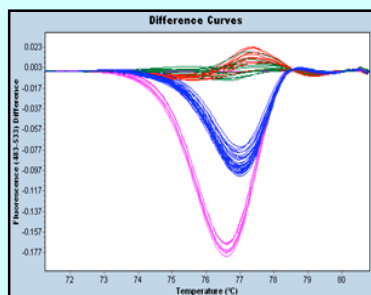
実際にWeb上でプライマー・プローブのデザイン方法について、また実験例、応用例等についてもご紹介致します



## 「リアルタイムPCRの最新アプリケーション」

### 未知変異解析: High Resolution Melting curve (HRM) 解析のご紹介」

ロシュ・ダイアグノスティックス(株)では、プレートタイプのリアルタイムPCR装置として、本年LightCycler®480システム IIの販売を開始致しました。本装置はプレート上での卓越した温度均質性とプレート全体で歪みなく蛍光を取得できる光学システムが特長となっております。本セッションでは、この特長を最大限に生かした他の機種では実現できない高解像度融解曲線(HRM)分析による遺伝子上の未知、既知の変異等を検出する新規方法について簡単にご説明します。



共催: 筑波分子医学協会 (協会長、金保安則)  
連絡先  
疾患制御医学専攻: 大根田修 (2938)  
生命システム医学専攻: 熊谷嘉人 (3133)